

会長：半田 稔 幹事：五十嵐 信

地区目標

「美しい心、ロータリアンの矜持  
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」

クラブテーマ

「あなたのロータリーをみつけよう」

◆点鐘：

◆ロータリーソング：

◆司会：西谷真一 S.A.A.

◆会場：山形テルサ



ロータリー：  
変化をもたらす

第2813回例会

平成30年6月9日(土)



Yamagata West Rotary

## 会長挨拶

半田 稔 会長



### ロータリークラブ会員の社会奉仕

今日は山形交響楽団の音楽鑑賞例会です。

山形のような地方都市にプロのオーケストラがあるというのは貴重な財産です。そこで、当クラブに限らず、県内のRCは、これまでも山形交響楽団を応援し寄付をして、さまざまな会場で演奏していただくなどの関係が続けてまいりました。しかし応援するからには、ぜひ1度は、メインのホールでフルオーケストラの演奏を聴いていただきたいと思

い、今日の例会を企画いたしました。

今日は、ロータリーの社会奉仕についてのお話です。1905年にRCが誕生し、しばらくして、世間から金持ちの集まりと批判されることもあり、また、お金を出して地域社会に奉仕することを前面に出したライオンズクラブが誕生したこともあり、RCの会員がお金を出して地域社会に奉仕する活動が行われるようになりました。このような流れに対し、一部の会員から、RCは親睦団体であって社会奉仕活動を行うべきではない、との批判がなされ、ロータリー分裂の危機も生じました。

ただ、RCの社会奉仕活動を批判した人も、RCは親睦団体だから単に飲み食いをして話をして楽しんでいけばいい、と言っているのではではありません。RCの目的は、自己研鑽をして、ロータリーの奉仕の理念を身につけることにありますが、そのために特別な研修などを受けるのではなく、例会に参加して異業種の方たちとの交流を深め、親睦に集中すれば、そのようなことは自然と身につく、ということなのです。

そして、論争の結果、ロータリーの理念が身についた会員は、RCの外に出て、社会への感謝として奉仕を行うべきである、RCの社会奉仕活動は、会員が個人で社会奉仕活動を行うための模範例として行っているのだ、ということになりました。

RCが山形交響楽団に寄付するのは、社会奉仕活動の一つと考えられます。皆さんが、RCが支援していることを知り、あるいは今日のような例会をきっかけに、個人的にも山形交響楽団を応援したいと考えましたら、鑑賞会員になったり、1回でも多く演奏会に行っていたいただければ、と思います。それが山形の財産を支えることになり、ロータリーをきっかけとした個人の社会奉仕になると思います。

## 挨拶

山形交響楽団 専務理事 西濱 秀樹 氏



本日はお忙しい中、例会を本日の定期演奏会にあててくださりまして、誠にありがとうございます。私が来て丸3年がたちました。山形交響楽団の状況は、おかげさまで累積債務も解消することができ、今年度の決算では、一般消費財産の増加という状況にございます。

スクールコンサートで300万人の子どもたちが、過去40年間オーケストラに触れ合った町なんてほかにはない、それだけの土壌がある町ならばもっとや

れるはずだ、お客さまが少なくなってきたのは企画が悪いからではないか、とメスは入れさせていただきました。

事業を再建するときには演奏家の心と、それがお客さまに対してもアプローチしなければなりません。そのときに、ぴったりなのはベートーベンなんです。ベートーベンのシンフォニーは、オーケストラメンバーの心を奮い立たせます。古典の傑作であるが故に非常に難しいんです。全部やろうというところで再起を果たすわけです。本当に素晴らしい誰もが知っているアーティストを呼んで山形の皆さんにお届けしようと、企画内容も大幅に入れ替えました。その中で2016年定期演奏会を2回に戻した最初の演奏会は、山響が再生できるかどうかのスタートでした。大変ありがたいことに最初の定期演奏会800席の中で747名の方にお越しいただきました。過去の最高記録です。その手応えを元に、もういちだん高みへ向けての歩みがスタートしました。2017年、会員の皆さまも1年で100名以上増えました。2018年さらに増え、会員比率が50%です。たくさんの方々へ会員にお入りいただいております。

山形交響楽団は、昨年のもーツァルト全集が、遠いチェコ・プラハで評価されているんです。次は、山形の名前を背負って海外に発信していきたい。その夢を持ってやっていこうと考えています。オーケストラというのは、人をつなぎます。町と町をつなげます。その証が今日の定期演奏会です。ラデク・バボラークさんを首席客演指揮者に迎えました。彼はチェコの指揮者で、そして今回、チェコを代表する作曲家、ミロシュ・ボクさんの作品を世界初演いたします。彼はチェコを代表する作曲家で、2020年の東京オリンピックの際に奏でられるチェコ国家を編曲した人です。

文化というのは、経済でもお金でも政治でも決して動かすことのできない力を持っています。この力をフルに発揮することが山形のさらなる展開、発展、交流の拡大につながっていくと信じています。山形交響楽団をこれからも力強く成長させていきたいですし、そのためにはここにお集まりの皆さま、山形のリーディングカンパニーを率いる皆さまのお力が結集することで、山形交響楽団が山形を背負って世界とつながっていくと思います。では、今日の演奏会をお楽しみください。



# 山形交響楽団 演奏会

THE ROMANTIC

「イタリア」を愛したロマン派の作曲家達

2018. 6/9(土) 19:00開演  
2018. 6/10(日) 18:30開演

2018. 9/1(土) 19:00開演  
2018. 9/2(日) 18:30開演

指揮・ホルン/ラダバハボラーク  
指揮/辰野 哲朗  
指揮/辰野 哲朗

2018. 6/9(土) 19:00開演  
2018. 6/10(日) 18:30開演

2018. 9/1(土) 19:00開演  
2018. 9/2(日) 18:30開演

山形交響楽団



第270回 定期演奏会

指揮・ホルン/ラダバハボラーク

第271回 定期演奏会

指揮/辰野 哲朗

指揮/辰野 哲朗

2018. 6/9(土) 19:00開演  
2018. 6/10(日) 18:30開演

2018. 9/1(土) 19:00開演  
2018. 9/2(日) 18:30開演

山形交響楽団



<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (6/9)	100名	33名	修正出席 (5/29)	100名	85名	80名	94.12%
メイクアップされた会員							